

【外国人留学生の国内就職率向上】

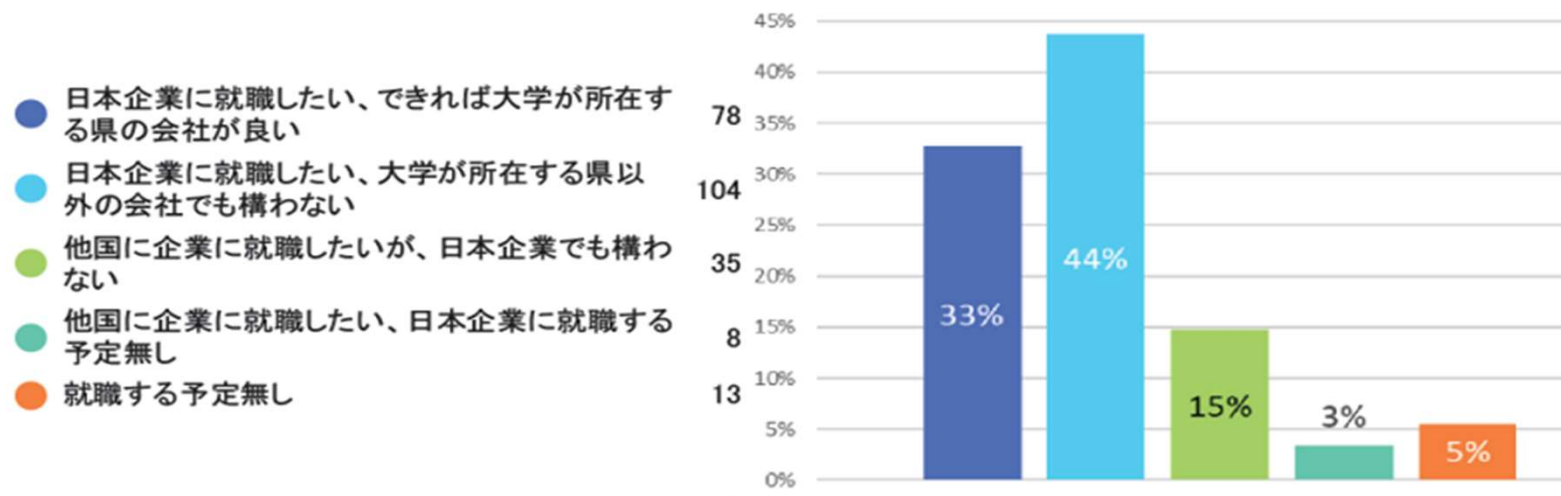
中部圏の大学等に在籍中の外国人留学生と企業の交流会

外国人留学生国内就職の現状

＜中経連アンケート結果＞

外国人留学生・就労者の日本企業における就労に関する意識

- ・就職意欲： 77%が日本企業への就職を希望
- ・在籍期間： 約半数が5年以上の長期在籍を希望
- ・就職理由： 「日本で働きたい」50%、「グローバル企業で働きたい」40%
- ・キャリア形成： 63%が同じ企業で働きたい
- ・企業への要望： インターンシップ実施、必要とする人材のスペック具体化、採用方法改善
- ・大学への要望： 留学生採用希望企業の紹介 29%



77%が日本企業への就職を希望

外国人留学生国内就職の現状

＜中経連アンケート結果＞

企業における留学生採用の課題

- 言語によるコミュニケーション不足
- 日本文化・習慣によるコミュニケーション不足
- 働く上での価値観の相違(バカンス、残業、生活習慣等)
- 早期退職の可能性が高い
- その他

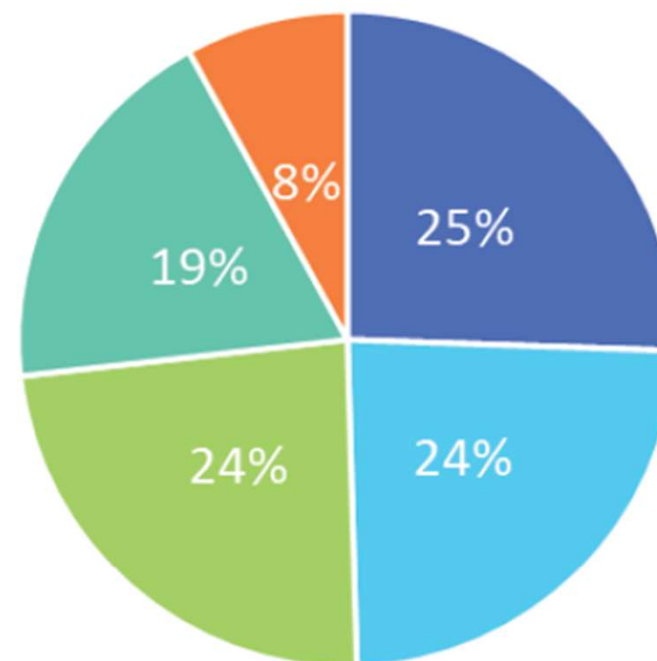
83

78

77

61

26



中経連のアンケートでは、企業は「言語・文化・習慣によるコミュニケーション不足」を留学生採用の課題として主に挙げている。多くの企業が入社後には幅広い場面での日本語による適切なコミュニケーション力を求めているが、留学生にとってそのハードルは決して低くない。また、企業自体も留学生の人材育成等の制度・体制が不十分な状況にある。

2024/06/14

グローバル愛知共催/留学生と企業との交流会

6月14日にイノベーターズガレージで愛知産業大学、愛知大学、名古屋大学、四日市大学等11大学・大学院の留学生25名（7ヶ国・地域）と中部地区企業6社の交流会をグローバル愛知と中部経済連合会の共催で実施した。参加企業はアピ(株)、大同特殊鋼(株)、(株)ダンデライオンズ、(株)ヒラテ技研、(株)FUJI、Man To Man(株)の6社/9名。

交流会では、日本人と外国人の社員間で発生しがちなコミュニケーショントラブルの原因と解決策について考えるワークショップや、日本の就職活動を経験した留学生へのQ & Aコーナーのほか、企業参加者が自社の雰囲気を紹介し、留学生が企業の選び方を尋ねる交流パートなど、双方の魅力を様々な角度で知ってもらうためのプログラムを準備した。



2024/08/07

名古屋大学共催/留学生と企業との交流会

8月7日に名古屋大学アジア法交流館で名大留学生21名（8ヶ国・地域）と中部地区企業6社10名との交流会を名古屋大学と中部経済連合会の共催で実施した。参加企業は(株)伊藤園、太陽化学(株)、日本ガイシ(株)、(株)FUJI、(株)名友産商、矢作建設工業(株)の6社の他、Man To Man(株)より6名がサポーターとして参加した。

交流会では、アイスブレイクで地域に因んだクイズバトルで学生と企業間が打解けた後、異文化コミュニケーション疑似体感ゲーム“BARNGA”で異文化交流について理解を深めたほか、「企業の雰囲気」、「WLB、キャリアサポート制度」、「留学生・企業の期待値」についてフリーディスカッションをした。閉会時コメントで、留学生・企業共交流会のテーマ『異文化理解』について「認識を深める良い機会となった」との感想を頂いた。

